



様々な戦争犠牲者を祀(まつ)る —旧真田山陸軍墓地—



大阪市天王寺区玉造本町。大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線玉造駅2号出口から南に200mほど歩くと、木々に囲まれた一角に整然と並ぶ墓碑がある。ここが旧真田山陸軍墓地である。

1870年(明治3年)12月1日、陸軍兵学寮で25歳の一人の青年が病死した。この死がきっかけとなり陸軍墓地造営が促進され、その翌年、日本ではじめての兵隊埋葬地としてこの真田山陸軍墓地が創設された。兵部省が国内80か所以上に設置した陸軍墓地のうち最古の歴史を持つものである。15,077m²の広大な敷地内に、AからIまでのブロックに5,299基以上の墓石と4万3千余りの遺骨を納めた納骨堂がある。

靖国神社は陸・海軍省によって選ばれた人々のみが「英靈」となって、神として祀られているが、この陸軍墓地は兵役従事中の死者を埋葬する墓地である。中には「1891年(明治24)年12月1日徴兵により入営、「生兵」訓練を終え、歩兵二等卒に命じられたが、1892年(明治25)年7月3日に銃によって自殺した」と刻まれた墓碑もある。しかし、自殺の理由は不明である。この

ように陸軍墓地は戦死者も病死者も自殺者も同様に葬られていことはあまり知られていない。

また、日清戦争で捕虜となって死亡した清国兵の墓碑6基と第一次世界大戦中に捕虜となり死亡したドイツ兵の墓碑2基が祀られている。その二人の墓碑には軍曹及び兵卒それぞれの名前や死亡年月日、死亡場所が刻まれているが、正面の文字が一部消されている。そこには「俘虜」という文字があったようだ。個人の名前のために削除されたのである。

なぜ大阪にこのような大規模な陸軍墓地ができるのだろうか。それには西南戦争のために大阪陸軍臨時病院が設立されたことが大きな要因だったようだ。特に1877年(明治10年)にコレラが流行し、この陸軍臨時病院に罹患者が搬送されて1,000名にのぼる死亡者があり、埋葬されたようである。

墓地のすぐ南に隣接した真田山小学校からは、子どもたちの歓声が聞こえてくる。子どもたちにもこの墓地のことを伝えたい。



手をつなごう

救える心

藤井寺市小学三年生(当時)

北山 ひより

東大阪市中学三年生(当時)
金澤由衣

やめえや!

いじめの何が楽しいん?

やられたらめっちゃ傷つくねんで

あんたらその子の気持ち分かる?

自分やつたらどう思う?

自分がされて嫌なことを

他の子にすんなや

めっちゃカツコ悪いで

実は私もな、いじめやつててん

けど、ちがうかつてん

カツコイイことやと思つてた

いじめられてから気付いたけどな

すごいしようもないことやねん

馬鹿みたいなことやねん

だから、はよ気付いて…

ちがつてもいいよ

同じでもいいよ

ニコニコえがおで

みんな いつしょだね

わたしたち

よくわかる

かなしい時 なくんだね

うれしい時 わらうんだ

全部 ちがうね

わたしたち



2011年度(平成23年度)人権啓発詩・読書感想文募集事業(大阪府・大阪府教育委員会・愛ネット大阪)の入選作品より

2012年(平成24年)11月発行

発行／大阪府府民文化部人権室

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16大阪府咲洲庁舎38階
TEL:06-6210-9281 FAX:06-6210-9286
<http://www.pref.osaka.jp/jinken/>

この情報誌は4,000部作成し、企画費を含めた1部あたりの単価は165円です。

編集／財団法人大阪府人権協会

〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階
TEL:06-6581-8613 FAX:06-6581-8614
<http://www.jinken-osaka.jp>

「そうぞう」とは

人権尊重社会を実現するためには、さまざまな偏見や差別を受けている人の状況・気持ちを「想像」することと、豊かな人権文化を「創造」することが必要です。この情報誌がこれらの「そうぞう」につながるように—そんな思いが込められています。